



あつまれ！夏休み子ども環境教室

よこはまユース (財)横浜市青少年育成協会事業
会場：はまぎん子ども宇宙科学館・環境自然教室
参加費：500円
7月11日(土)13時～16時「大気汚染・地球温

暖化をしらべよう」24名 抽選決定済み(大気環境部会担当)

8月3日(月)13時～16時 紙管クラフト「写真立てを作ろう」24名 締切7月20日(ケナフ部会担当)

子ども達におくる夏の思い出

県提案型協働事業「子ども環境体験教室」今年も開催！！

本事業サブ担当 吉田 榮一

今年度も下記のように神奈川県環境科学センター協働事業として3地区、6教室を開催することになりました。昨年度の経験を生かし、参加して下さる子ども達が楽しく、思い出に残る内容で、体験や工作を通して地球温暖化問題について子ども達とその保護者の方にも実践に結びつけられる教室を目指しています。現在教室責任者が中心になって開催に向けて多大な労力と地域力を活かして企画・準備を進

めています。多くのお子様の参加をお願いいたします。

また、昨年実施した地区では県環境科学センターの協力を得て、今年度もいくつかの地域で同様な教室を引き続き開催することになりました。各地区の当会会員の皆様には交流と連携を高める機会ととらえて、本事業への積極的・継続的参画をお願いします。

平成21年度 県提案型協働事業「子ども環境体験教室」実施計画概要

地区 (責任者)	教室テーマ(定員)	会場・住所	開催日	教室責任者
県央地区 (内藤克利)	ソーラークッカーを作ろう (太陽の恵みである太陽熱の有効利用の仕方を学ぶ)(30名)	厚木市ヤングコミュニティセンター6F ホール 250 厚木市中町 1-1-3	8月1日(土) 10時～12時30分	狩野光子
	ソーラーオルゴールを作ろう (太陽エネルギーの活用事例を通じて地球温暖化を考えよう)(30名)	座間市立青少年センター 3階会議室 座間市立野台 1-1-4	7月30日(木) 10時～12時30分	林 恵子
足柄上地区 (香川興勝)	ソーラーオルゴールを作ろう (太陽エネルギーの活用事例を通じて地球温暖化を考えよう)(30名)	南足柄市女性センター 南足柄市関本 440	7月20日(月) 10時～12時30分	飯田富佐江
	間伐材を利用した木工クラフト (自分だけの生き物を作ろう) (30名)	大井町そうわ会館 多目的室 大井町山田 502	8月9日(日) 10時～15時	水野和則
横三地区 (安藤紘史)	潮溜まりの生き物観察 (地域の自然を知り、その大切さを学ぶ)(20名)	天神島臨海自然教育園・ ビジターセンター他 横須賀市佐島 3-7-3	8月20日(木) 9時～14時30分	野崎章子
	ソーラーオルゴールを作ろう (太陽エネルギーの活用事例を通じて地球温暖化を考えよう)(30名)	逗子市市民交流センター 2階会議室 逗子市逗子 4-2-11	7月28日(火) 10時～12時30分	安藤紘史

親子で楽しむ環境展

2009年6月13日(土) 横浜駅東口 新都市プラザ(地下そごう入口前)



会場風景



古紙紙管を利用したペン立て作り



自転車発電に挑戦



ケナフによる紙漉き



ちがさきエコワーク 2009 に参加

古澤 正文(茅ヶ崎市)

7月4,5日、茅ヶ崎市の環境フェア「ちがさきエコワーク 2009」に当会として出展しました。会の活動をPRと共に、ワークショップとして、猪股副代表による水質測定と丹沢の立ち枯れの話、西さんによる万能風呂敷の包み方紹介を行い、会場を訪れた多くの市民の関心を引きました。「水溶液の pH 測定～これアルカリ性？酸性？～」コーナーでは、今朝降った雨が4.2であることについて、多くの参加者が、猪股さんの熱弁に耳を傾けていました。

雨の酸性度に関心集まる

今年初めての参加となりました。

当会のパネルが出来て、多くの人に説明し易くなりましたし、綺麗なチラシも準備されて、多くの人たちに認知され始めていることは、誠に嬉しいことでありますし、会員の活動にも注目が集まって来ています。

この環境フェアは、茅ヶ崎市民団体「ちがさきエコワーク」と茅ヶ崎市役所環境部とが毎年環境月間開催し、市民の環境に対する意識の向上を促進するものです。この団体の中にある「学習部会」には当会の会員が大勢参加していて、環境フェア行事の企画、団体の活動の推進に大いに活躍しておられ、行政側からも期待されております。当会としては、



「環境ボランティア養成講座」
5日間で実施

かながわコミュニティカレッジ連携講座

コミカレ事業担当 桑原 清

かながわコミュニティカレッジ「環境ボランティア養成講座（通称「コミカレ」）は今までは県協働事業として委託を受けて実施しましたが、3回目となる今回は「かながわコミュニティカレッジ連携講座」として当会が主催することとなり、企画から実施までの全てを担当し、県からは施設等の提供、受講生募集の支援を受けました。

「コミカレ」は、環境問題に関心を持ち、新たに活動を始めようとしている人や、活動の幅を広げようとしている人に、単なる知識や情報の提供だけでなく、人との繋がりを広げる場を提供することも目指しています。これをきっかけに当会に入って活動を始めた人達が今までも何人もいて、会にとっても重要な事業です。

今回の講師は全て当会会員で、5日間 10 コマと今までよりコンパクトな構成でしたが、13名の受講申し込みがありました。

1 6月9日の1日目は、安藤紘史・エネルギー部会長の講演「地球温暖化と省エネルギー」でした。地球温暖化問題に始まり、講師自身の家庭での省エネの取り組みの話に多くの受講生が聴き入っていました。照明の電力比較や待機電力などの体験実験も好評でした。

2 6月16日は、鎌倉の中央公園、広町緑地から神戸川近くの行政センターまでを歩いて見学しながら、猪股満智子氏（かまくら環境会議）の「多様な谷戸保全活動を学ぼう」と水環境部会・齋藤昭一

部会長の水質判定を学ぶ」の話の話を聞きました。日頃自然にふれる機会の少ない受講生には新鮮な発見があったようです。

3 6月23日は「神奈川の大気環境と地球規模の大気環境」と題する猪股満智子・大気環境部会長の講演でした。受講生13人のうち女性が8人で、しかも何人かはかなりの活動実績があり、受講生同士でディスカッションが始まったり、今までとは違う雰囲気です。講座が進んでいます。

4 6月30日の前半は柳川三郎グリーン部会長と部会メンバーによるグリーン購入など消費生活に関する講演「買い物で社会を変えよう」で、部会が日頃子ども達に見せている紙芝居の実演が好評でした。後半は内藤克利廃棄物GO3部会長の講演「ごみと3R Reduce, Reuse, Recycle」で、主婦層に関心の高いテーマだけに、途中から受講生同士の討論の場となる一幕もありました。

5 最終日の7月7日は、荒谷輝正・ケナフ部会長のボランティア活動の経験についての講演「私と環境ボランティア活動」の後、これから取り組むボランティア活動について、受講生に講師も交えて語り合うワークショップを予定しています。

当会は今後もボランティア活動を目指す人たちと触れ合う機会を増やすとともに、より質の高い講義を提供できるよう、日々の研鑽が大切だと感じています。県のご支援に深く感謝いたします。

エネルギー・野外見学・水・大気・グリーン購入・ごみなど 多彩な内容

実績ある受講生参加
受講生同士が討論も...



1日目講義の様子（安藤講師）



2日目、鎌倉中央公園にて



4日目講義、紙芝居を熱演

平成 21 年度総会は 5 月 23 日(土)ひらつか市民活動センターで開催されました。

K・リーダー会は平成 19 年 9 月に NPO 法人として再スタートし、早くも 1 年半以上が経過しました。今年これを記念して、総会に先立ち 1 時 15 分より、神奈川県環境科学センターの原田進氏を講師にお招きし、記念講演会を開きました。会員外の方を含め約 40 名が来場され、熱心に聴講されました。

記念講演会、
総会に
会員三十名

3 時より開催された総会には、正会員 30 名が出席され、委任状 43 名、議決権行使 13 名を加えた出席者数は 86 名でした。県環境科学センター山田経行所長の来賓挨拶に続き、安丸元一氏を議長に選出し、議案の審議に入りました。議案については事前にお送りした議案書をご覧ください。

吉田榮一前代表より 20 年度活動報告・収支決算、21 年度活動計画・予算案の説明があり、審議の結果、いずれも満場一致で承認されました。ご出席の方からいただいたご意見を以下に要約します。

【収支・予算】19 年度と比較して 20 年度の繰越金が増加しているが、部会活動の活発化を促すような配分を検討して欲しい。地域サポートや新規事業にも積極的な予算を講じて欲しい。また、どの程度の繰越金が適切なのか基準を検討するべきだ。

【会員】会員の増強に努めて欲しい。学生の入会を促すなど、具体的な取り組みを期待する。

【広報活動】21 年度は会報発行が 4 回に減るので、ホームページを充実させタイムリーな情報提供を心掛けて欲しい。

引き続き吉田前代表より 21 年度理事・監事候補の説明がありました。議案書を発送した後に理事候補一名が一身上の都合から候補を辞退されたため、先ず議案書の変更について出席者の承認を得た後、審議の結果、満場一致で承認され、これで全ての議案の審議が終了しました。

続いて、退任された 20 年度役員の児玉勇氏(監事)・熱海宗信氏(運営委員)の挨拶の後、齋藤昭一新代表より次の内容の就任挨拶がありました。

【所信表明】平成 5 年の K・リーダー会発足当時の



平成 21 年度総会会場風景

初心に帰り、リーダーとしての条件を忘れずに取り組む。具体的には(1)「コミュニティカレッジ」等の事業の充実に努め、会員の増強を図る。(2)子どもを対象とする環境教育に注力する。(3)県環境科学センターとの協働事業に全力をあげる。

最後に新任役員を代表して柳川三郎理事より挨拶があり、午後 5 時前に散会しました。

【懇親会】午後 5 時 30 分からは、平塚駅ラスカ屋上「リビエラ」に会場を移し、懇親会を開催しました。25 名の会員が参加して 2 時間に亘って歓談のひとときを過ごしました。

21 年度の理事・監事は以下の通りです。

理事	齋藤昭一 (代表理事、地域活動サポート部、水環境部会長)
理事	猪股満智子 (副代表理事、既存事業担当、大気環境部会長)
理事	内藤克利 (副代表理事、新規事業担当、廃棄物 GO3 部会長)
理事	桑原清(事務局担当)
理事	田口繁雄(会計・経理担当)新任
理事	中村正枝(広報部長)新任
理事	荒谷輝正 (名簿管理・情報管理担当、ケナフ部会長)
理事	安藤紘史(エネルギー部会長)
理事	柳川三郎(グリーン部会長)新任
理事	吉田榮一(渉外担当、自然環境部会長代行)
監事	井上勝義
監事	鎌田英光 新任

代表挨拶

代表理事 齋藤 昭一

水環境の世界に飛び込み 16年

この度代表になりました齋藤昭一です。皆様どうか宜しくお願いいたします。

神奈川県では平成5年9月、環境学習リーダー養成講座が全国に先駆けて設けられました。会場は平塚市にある県環境科学センターでした。第一期生40名の中の一人として参加しましたが、初日の講義の「環境概論」猿田教授の「地球が誕生して46億年、人類は自らの文明文化の発達、生活向上という名目のために人類誕生してわずか数百万年、特に18世紀の産業革命以来の活動は・・・そして今日の環境破壊に通じている」云々との講義の一節は私に強烈なインパクトを与えたものでした。

茨城の田舎に疎開をし、その清流の美しさ、Googleなど付けずに潜っても泳いでいる魚や川底がきれいに見えたのをおぼえています。しかし昭和32年に上京してきて見た隅田川をはじめとする東京近郷の河川は言葉に言いえないほど汚いものでした。35年神奈川に移り川崎、鶴見と大きな川の側に住みましたが川の汚れは酷いものでした。第一期生34名が無事終了したのは11月でした。川の好きな

皆様が「環境コンシェルジュ」に！

私はすぐに「水環境の世界」に飛び込みました。以来、今日まで川を中心とした水環境の世界で活動しています。

さて今日ほど環境云々と叫ばれている時代は無いのではないのでしょうか。政治、経済、産業、教育、等あらゆる分野で叫ばれています。しかし、これからはさらなる努力と研鑽を重ねた「環境コンシェルジュ」が必要とされるのではないのでしょうか。私達はそれに答えるべきしっかりとした理念と実践に裏打ちされた成長の証明をしながら、(1)後輩の育成にも全力を挙げるべきです。さらにこれからは女性の時代です。(2)我がK・リーダー会も女性のリーダーに大きく門戸を開き、その道を示すべきです。(3)さらに会員の増強のためにも家族会員、学生会員、等の参加をこころよく迎えられるような体制を考慮して行く必要があるのではないのでしょうか。

最後に環境科学センターを中心とした活動を基本としながら、環境教育のエキスパートとして、それぞれの地域を中心としての環境学習リーダーのコンシェルジュとして活躍することのお願いとお約束をして、私の挨拶といたします。

挨拶・微力ですがより前へ向かって！

理事 吉田 榮一

2年間の代表理事(就任当時は代表)就任中には会員の皆様並びに関係の多くの皆様にはいろいろ大変お世話になりました。皆様のご協力、ご支援とご指導が仕事をする上での大きな支えとなり、力の源泉となりました。心より厚くお礼申し上げます。

就任早々に特定非営利活動法人格取得とその基盤整備、さらにはかながわコミュニティカレッジや県提案型協働事業等の大型プロジェクトの受諾があり、実行しなくてはならない業務が大幅に増えてしまい、さらに想定外の乗り越えなければならない山がいくつか出現しました。このような事情ではありますが、能力と時間との不足からもっと多くのことを実行しなくてはならなかったと深く反省しております。大変ありがたいことに平成20年度の理事の何人かの方から平成21年度も理事として残るようにと推薦

して下さり、また今回の総会において理事就任をご承認いただきました。そのため、皆様と議論を深めた上で具体的事項についてより前に向かって微力ではありますが全力を尽くしたいと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆様のご協力、ご支援とご指導に対して重ねて深く感謝いたします。誠にありがとうございました。



記念講演 「丹沢大山総合調査 その背景と基本的考え方」

(調査設計から政策提言までの思考)を聞いて

柳川 三郎(平塚市)



当会 NPO 化一周年記念講演として、県環境科学センター活動推進課(元県自然環境保全センター副所長)原田進氏の講演を聞き、私が学んだことや皆様も考えて欲しいことを記載します。

見て欲しい荒れている丹沢の現状

第一に皆様へ丹沢・大山の現状を目で確認してほしいとの強い思いがよぎっています。山は倒木の惨状、山肌は荒れて露出しています。シカ防御柵の無い所は下草がない状況です、丹沢堂平は高さ 1200m、絶景スポットですが、木肌は鹿に食われ、水分ストレスによるブナの立ち枯れで、丹沢山までの綾線はブナがもう何年も枯れている様子を目視できます。

丹沢大山総合調査の基本視点は水と生き物と経済の循環を目指す新保全計画で、抱えている 8 つの特定課題 (1) ブナ林の衰退 (2) シカの影響 (3) 外来種の増加(ペットの野生化等)(4) 人口林の劣化(手入れ不足と

シカ害)(5) 生物多様性の減少 (6) 溪流生態系の悪化 (7) 登山道の荒廃 (8) 里地里山へのかかり低下等に対して、まず調査(基本調査、特定課題、生きもの再生調査、水と土再生調査、地域再生調査)を実施して情報を e-Tanzawa として整備し、重点対策地域と統合的対策実施地域を設定しています。

記憶にとどめたい 3つの再生手法

強く記憶に留めたい 3 つの再生手法、1 . 多様な生きものの再生解析、東西モニタリングエリア、特に東エリアの生息環境悪化が進む地域は特定課題の解決に向けた能動的な対策を推進、2 . なりわいと生きもの統合的再生解析は「森林資源の有効活用」と「生きもの生息循環の再生」を計画的にデザインして方向性を創造、3 . 水と土壌の統合的再生解析について東丹沢堂平地区での土壌侵食の実態調査および水循環モデルの構築とシナリオ分析による水循環将来予測、が見えてきていることを知り、関係者のたゆまぬ研鑽努力に敬意を表したい心持です。

部会活動

ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

定例会スケジュール(決定分) 各回 10 時~16 時
於: 県環境科学センター

1. 7 月 19 日(日) 圃場の管理。講座の打ち合わせ。
2. 8 月例会日時は 7 月の定例会で決定します。

対外活動実施予定(決定分)

1. 7 月 23 日(木) 1 時~3 時 横浜市丸山台小学校で牛乳パックを利用した紙漉き講座
2. 7 月 29 日(水) 鎌倉市大船学習センター 10 時~12 時「楽しく実験、そうして考えよう地球温暖化」
3. 8 月 3 日(月) 1 時~4 時 はまぎんこども宇宙科学館「古紙紙管を利用した写真たて」講座
4. 8 月 7 日(金) 横浜市野庭地区センター「牛乳パックによる紙漉き」
5. 8 月 20 日(木) 相模原市男女共同参画機構(略

称ソレイユ)にて親子体験教室「古紙紙管を利用した工作教室」

6. 8 月 23 日(日) 横浜市和泉区子ども連絡会主催の行事で「ケナフによる紙漉き」
7. 10 月 23 日(金) 横浜市港南区暮らしと環境講座で「牛乳パックによる紙漉き」

部会活動

- 4 月 19 日 ケナフの種蒔き。5 月 21 日 ケナフ畑の圃場管理、「親子で楽しむ環境展」の準備。
- 6 月 13 日 親子で楽しむ環境展にて、「ケナフを利用した紙漉き」、「古紙紙管を利用したペン立て作り」を実施、各々 100 名の参加があった。

6 月 21 日 はまぎんこども宇宙科学館講座準備

問合先: 荒谷 輝正 電話・FAX: 042-754-3256、

E-mail: teruaratani@jcom.home.ne.jp

エネルギー部会 部会長 安藤 紘史

活動予定(21年7月~21年9月)

定例会(県民サポートセンター、16時~18時)
7月8日(水)708号室、8月5日(水)710号室、
9月9日(水)601号室、10月14日(水)709号
県協働事業「子ども環境体験教室」(ソーラーオルゴ
ールを作ろう)へ参画(7月20日、28日、30日)
鎌倉市「子ども向け環境学習会」を他部と共同で実
施(7月29日)
県主催「省エネ・新エネ学校派遣授業」で2校から
申し込みあり、9月と11月実施予定

活動報告

4月度例会 8日開催。参加者10名
・本年度の活動方針審議。啓発活動と相互情報交換
強化を再確認。
・「エネルギー」の認識に関する考察(西)
西さんが小学生に対して実施したアンケート結果
から。子ども達が「エネルギー」という言葉で何

を連想するか考慮しながら授業を行う必要性あり。

5月度例会 13日開催 参加者9名
・子ども達へ教える時の黒板の活用方法について
(西)
・逗子の気温推移(安藤)40年間で年間最高気温が
6以上上昇した。(平均気温は1程度)
・CO₂の水への溶解実験(水温の差)紹介
6月度例会 10日開催 参加者7名
・温暖化効果ガス中期削減目標について情報交換。
・ゲーム機の消費電力(鎌田)ゲーム機(除く携帯)
は非常に大きいので中学生の省エネアイテムとし
て重要。また、同モデム等の待機電力にも注意。
・エコポイント制度はエコか(安藤)
特にTVの大型購買促進ポイントは反エコ。
6月13日 親子で楽しむ環境展に参加
人力発電自転車を担当。小学生から大人まで、電
気の大切さを体感してもらった。

大気環境部会 部会長 猪股 満智子

活動予定

7月4日(土)5日(日)10時~17時 茅ヶ崎市
民文化会館 ちがさき環境フェアに出展 ワーク
ショップ開催
7月11日(土)13時~16時 はまぎんこども宇宙
科学館(1面参照)
10月3日(土)13時30分~16時30分 NPOセ
ンター大船 定例会(6月度NO₂、SPM・PM
測定評価他)

活動報告

5月30日(土)NPOセンター大船 10名出席 定
例会部会及び6月NO₂測定準備他
6月4日(木)夕~6月5日(金)夕 NO₂24時間
測定
6月13日(土)親子で楽しむ環境展出席
6月14日(日)11時~16時 KERC 実習室
NO₂分析 15名出席

グリーン部会 部会長 柳川 三郎

活動予定

(1)平塚市環境フェア2009 7月26日(日)午
前11時・午後2時 ひらつか市民プラザ 平塚市
紅谷町18-8 紙芝居 演題「宇宙人ミノリン」
(2)横浜市泉区環境フェア 8月23日(日) 横
浜市泉区役所 環境カルタ・紙芝居「夏バージョン」
(3)廃棄物(ごみ)の最終行方の研修 日時、場
所、未定、調整企画中
(4)環境学習指導コースについて 10月下旬 県
環境科学センター 実施計画案は今後の会議で決定

活動報告

部会会議 4月11日、5月10日、6月20日 ひら
つか市民活動センター

・親子で楽しむ環境展企画
・コミュニティカレッジ企画
・平塚市にて新規参加、地球温暖化防止出前講座
・ごみの行方について研修実施を検討中
・親子で楽しむ環境展における「グリーン購入」ア
ンケート 通行人に162名に聞く
初めて聞いた 120名(女65名、男20名、子
ども35名) 聞いたことがある 24名(女7名、
男11名、子ども6名) 知っています、実行し
ています 18名(女10名、男8名)
75%が知らないとの回答で、当部会等の啓発活動
が重要であることを再認識した。

自然環境部会 部会長代行 吉田 榮一

活動予定

1. 9月15日から17日 泊3日 北海道登別市
ネイチャーセンター見学会、案内・指導 土屋前
理事

2. 9～10月の土日 大岡川(横浜)の源流を訪ね、
円海山散策鎌倉へ 案内・指導 清水幸夫元代表
詳細は E-メールでメーリングリスト登録会員に
ご案内します。

事務局だより

事務局 桑原 清

これからの事業予定(1面掲載以外)

- 7月22日(水)「ソーラーオルゴールを作ろう」神
之木地区センター
- 7月23日(木)「牛乳パックでハガキを作ろう」丸
山台小学校
- 8月5日(水)「ソーラーオルゴールを作ろう」神奈
川地区センター
- 8月6日(木)「ソーラーオルゴールを作ろう」深大
寺地区センター
- 8月7日(金)「牛乳パックでハガキを作ろう」横浜
市野庭地区センター^{*1)}
- 8月14日(金)子ども環境体験教室「二酸化炭素の
性質を調べて地球温暖化を知ろう」神奈川県環境
科学センター
- 8月20日(木)「セミの抜け殻採取、自然観察」小
田原市郷土文化館と小田原城址公園^{*1)}
- 8月23日(日)「親子で楽しむ環境講座」横浜市泉
区役所
- 8月28日(金)「学校出前講座(東京ガス要請によ
る)」磯子区内の小学校(詳細未定)

- 9月17日(木)「神奈川県新エネ・省エネ学校派遣
事業」箱根町立湯本小学校
^{*1)}平成20年度「子ども環境体験教室」実施地区における
平成21年度の継続実施事業
理事会開催予定
- 7月9日(木) 8月6日(木) 9月10日(木)
理事会報告
- 4月9日(木) 平成21年度運営方針・予算(案)
ほか総会議案を協議。終了後、情報交換会・懇談
会を開催(参加者2名)
- 4月23日(木) 総会議案書の内容を承認
- 5月14日(木) 総会議案書の最終確認、第五号議
案の一部変更を承認
- 6月11日(木) リーダー会事務所移転を承認
終了した事業
- 6月13日(土)「親子で楽しむ環境展」(詳細は2
面に掲載)
- 7月4日(土) 5日(日)ちがさき環境フェア2009」
茅ヶ崎市民文化会館及び中央公園(2面参照)

参加ご協力をお願いします!(環境省いきものみつけ)

気候変動を見守ろう

身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。

キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」

夏の対象: ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、クマゼミ、
ナガサキアゲハの初鳴き日や初見日

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際な
どに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の気候変
化が手に取るよう。マップデータ化します。

送り先: 大気環境部会 猪股宛 Tel/Fax 0467-32-6858

Eメール km_inmt@ybb.ne.jp

(調査のヒント: 前年見つけた場所を毎年早めに
追っていくのもよいですね。)

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第67号

発行日: 2009年7月13日

発行者: 代表理事 齋藤昭一

編集人: 中村正枝広報部長、長村吉洋広報部員

〒233-0013 横浜市中区住吉町2-26

洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内

FAX: 050-3488-4943

E-MAIL: npo.k.leader@gmail.com

URL: http://members.at.infoseek.co.jp/k_leader/

寄付、会費等納入講座: ゆうちょ銀行

00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2009 Printed in Japan